

Special Feature

左利きのウッドベース弾き特集 【Left-handed Upright Bassist】

以前本誌「Vol.18」の巻頭特集で《女性ベーシスト特集》を組んだが、今回は《左利きのウッドベース弾き特集》でジャズ・シーンから珍しい9人の左利きのウッドベース弾きを紹介したい。

左利きのエレキベース奏者ではビートルズのポール・マッカートニーが有名で、日本では近年TVアニメから人気を呼んで映画化もされた『けいおん!』に登場する秋山澪というキャラクターがフエンドーのジャズ・ベースを愛用する左利きのベーシストとして人気があるようだ。ギタリストではジミヘンことジミ・ヘンドリックや偉大なブルース・ギタリストのアルバート・キングやオーティス・ラッシュ、伝説のロック・バンドニルバーナのカート・コバーン、日本のロックバンドBUCK-TICKの今井寿等、現在では珍しい存在ではなくなったが、左利きのウッドベース弾きは未だにかなり珍しい存在。

今回左利きのウッドベース弾き達にそれぞれ「左利きで困ったこと」という質問をしてみたが、やはりジャム・セッションや飛び入りで演奏する際に、弦が左右逆になるため容易に普通（右利き用）のウッドベースを借りて弾きことができず、したがってツアーや海外での演奏時には自分のウッドベースを持参することが不可欠になることが一番の苦労のようだ。

嘗ての日本では左利きは良くないなどとされ、生まれつき左利きなのに幼少期に箸や鉛筆を持つ手を強制的に右手に直されたなんて話をよく聞いたが、今では包丁やハサミといった日用品でも左利き用のものが市販されるなど、ギターやベース等の楽器でも手に入りづらく種類も限られていたひと昔前とは違って、左利き用のモデルもかなり増えてきている。

また、左利きの人を指す言葉として英語で「サウスポー（Southpaw）」「レフティ（Lefty）」、日本語で「ぎゅっちょ」等があるが、「サウスポー」は野球のホームベースが北西にあるのが原則で、左投げ投手の手（paw）が南（South）からくり出されることから、1892年にシカゴ・ヘラルド誌の記者が作った造語とされる。「レフティ」は主に左利きのスポーツ選手を指す時に使用されることが多いようだが、英語圏では一般的に左利きの人を指す言葉として「レフト・ハンデッド（Left-handed）」が使われることが多いようだ。そして、「ぎゅっちょ」は明治時代辺りから使われた左利きを意味する「左ぎゅっちょ」が略された俗語とされる等諸説あるが、やや差別的な響きがあるからか、近年ではあまり使われていないようだ。

ちなみに「ウッドベース（Woodbass）」は和製英語で、あの巨大な弦楽器の呼称として「コントラバス（Contrabass）」「アコースティック・ベース（Acoustic Bass）」「ダブル・ベース（Double Bass）」「ストリング・ベース（String Bass）」「スタンディング・ベース（Standing Bass）」「アップライト・ベース（Upright Bass）」等があるが、一般的には日本語では「ウッドベース」、英語では「Upright Bass」という呼び方があの形と大きさが一番伝わりやすいのではないだろうか。

余談だが、左利きのエレキベース奏者として有名なビートルズのポール・マッカートニーのウッドベースといえば、1974年にポールの最初の奥さんだったリンダがエルヴィス・プレスリーのベーシスト、ビル・ブラックが「ハートブレイク・ホテル」の録音で使したとされる金色モデルのウッドベースをナッシュヴィルで購入してポールにプレゼントしており、そのウッドベースを弾くポールの映像はYouTubeで見ることができる。

今回、ジャズ・シーンを中心にいろいろとリサーチしてみたが、ここに取り上げた9人のアーティスト以外にもまだまだ様々な国で活躍する左利きのウッドベース弾きがいるはず。日本のジャズ・シーンからは長江敏郎をフィーチャーしたが、他にも鈴木ひろゆき、三橋克史、原田通治といった左利きのウッドベース弾きの存在も確認している。ジャズ・シーン以外では嘗ての人気テレビ番組『平成名物TV 三宅裕司のいかすバンド天国（通称：イカ天）』に出演して話題となったロカビリー・バンド＝One Night Standsのピーマン。日本以外でもフランスのスラップ・ベーシスト＝ニコラス・ダボウシェット（Nicolas Dubouchet）、アメリカ・ハワイのグループ＝ヘマ・パア（Hema Pa'a）のボーカル兼ウッドベース奏者クリス・カマカ（Chris Kamaka）等がいる。最後に本誌編集長も若かりし頃、左手でウッドベースを弾いていました。



Earl May

アール・メイ

★あの素晴らしい演奏と素敵な人柄は永遠です！
 Profile
 アメリカ・ニューヨーク出身。1927年生まれ。50年代初頭にチャールス・ミンガスに師事。ビリー・テイラー・トリオをはじめ、数多くのレコーディングに参加。2008年1月4日心臓発作のため死去。享年80歳。最後のリーダー作は『Swinging The Blues』(2006年)。

写真提供：井上智 (ジャズ・ギタリスト)
 HP [http://www.satoshiinoue.com/]

恐らくジャズ界で最初の左利きのウッドベース弾きと思われるアール・メイだが、実際には右利き用の通常のウッドベースをそのまま、弦を左右逆に並び替えることなくプレイするという更に珍しいスタイルをとっていた。(ギターでは、Babyface、甲斐よしひろ、松崎しげる等が、同様に「右用を左で演奏」スタイル) 2005年と2006年に盟友のジャズ・ピアニスト、バリー・ハリスのトリオで来日した。左利きのウッドベース弾きのバイオニア的存在。

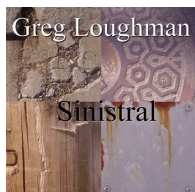


Swinging The Blues The Earl May Quartet

Arbors Records
 (Import CD)
 Now On Sale!

【現在オフィシャル・サイトはありません】

- ①愛用のウッドベース
ドイツ製 (メーカー不明)。ミッテンヴァルトで約100年前に製作。
- ②左利きで困ったこと
飛び入りで普通 (右用) の楽器を借りる時は超スロー・バラード以外は困難。旅に出る時は常に自分の楽器持参が不可欠なこと。
- ③夢について
もっと世界中で演奏を重ねること。お金に関する心配がなくなること。



Sinistral Greg Loughman

© Greg Loughman
 (Import CD)
 Now On Sale!

【www.gregloughman.com】

Greg Loughman

グレッグ・ラフマン

★三輪洋子トリオをはじめ、近々の来日公演に期待！
 Profile
 アメリカ出身。1973年生まれ。15歳でエレキ大衆時代にウッドベースを始める。現在ボストンを拠点に自身のグループ、著名アーティストのサポート、ボストン在住の日本人ピアニスト三輪洋子トリオでも活躍中。最新リーダー作は『Sinistral』(2008年)。

写真提供：Greg Loughman



Assaf Hakimi

アサフ・ハキミ

★自身のグループを率いての来日公演に期待！
 Profile
 イスラエル・エルサレム出身。1977年生まれ。17歳でエレキ、22歳の頃からウッドベースを始める。2001〜2009年までニューヨークで活動。2009年4月以降、故郷イスラエルを拠点に活動中。最新リーダー作は『Some Other Day』(2006年)。

- ①愛用のウッドベース
1960年製作のドイツ製 (メーカー不明)。
- ②左利きで困ったこと
左利き用のウッドベースを探すが大変。常に自分のウッドベースを持参しなければならない、それは決して楽しいことではない。
- ③夢について
ミュージシャンとして、世界中の人々との繋がりを感じながら、常にベストな演奏、常にベストなパフォーマンスを見せること。



Some Other Day Assaf Hakimi

© Assaf Hakimi
 (Import CD)
 Now On Sale!

【http://assafhakimi.com/】

Photography by Din Aharony



Jennifer Leitham

ジェラール・レイサム

★先頃 DVD 作品『The Real Me Live』をリリース。
Profile
アメリカ・フィニデルフィア出身。名立たるジャズの巨
人達との共演の他、7枚のリーダー作を含め、これま
で100以上のレコーディングに参加。2011年より
ニューヨークからサンゼルスへ拠点を移し活躍中。
最新リーダー作は『Left Coast Story』(2008年)。

- ①愛用のウッドベース
長年ドイツ製（Hofner）を愛用。
現在の楽器は Hofner モデル「596V」。
- ②左利きで困ったこと
良い状態の楽器を見つけること。右用を左
用に交換するのは高額、楽器に侵襲的で、
売るとき大変。旅の運搬（特に飛行機）。
- ③夢について
常に好きな音楽を演奏し、まともな暮らしが
でき、演奏・人間面で進歩の努力をすること。



The Real Me Live

Jennifer Leitham

Sinistral Records
(Import DVD)
Now On Sale!

<http://www.jenniferleitham.com/>

写真提供：Jennifer Leitham

- ①愛用のウッドベース
名ウッドベース・ビルダー Thomas Martins
氏に左用に特注した 2004 年製「Karla」と
1980 年製に Gerard Samija 氏が左用に交
換した 1980 年頃製作のドイツ製「Fiona」。
- ②左利きで困ったこと
旅の際の持ち運び（楽器持参が不可欠）。
- ③夢について
自分のバンドで自分の音楽を演奏すること。
憧れのミュージシャン達と共演し学ぶこと。

★Profile
カナダ出身。2002年よりフランス・パリを拠点にペー
シスト、作曲家、リーダー、アレンジャーの他、講師
としても活躍。フランス在住の日本人琴奏者、宮崎美
恵子とともに活動中。これまで4枚のリーダー・作を発表。
最新作は「Chris Jennings Quartet」(2011年)。
★coming soon 8月1日、ニューヨーク・マンハッタン・トリオで来日！



Chris Jennings Quartet
Chris Jennings Quartet

Promise Land Records
(Import CD)
Now On Sale!

[www.chrisjenningsbass.com]



Chris Jennings
クリス・ジェニングス

photo Chirstophe CHARPENEL

A man with a shaved head, wearing a light-colored suit jacket, a white shirt, and a striped tie, is playing a double bass. He is looking down at the instrument with a focused expression. The background is dark and out of focus.

Giorgos Antoniou

ジョーゴス・アントニオ

★今秋 Claus Raible Orchestra との参加作発売！
Profile
ギリシャアテネ出身。スイス・ジャズ・スクールで学び
ウッドペースをベラ・セトラークに師事。クラーク・テ
リーやジョー・グレイフィン等、大御所とも共演を重ね
1984 年以降、スイスを拠点にヨーロッパで活動中。
最新参加作は「A Dedication to The Ladies」(2011 年)

- ①愛用のウッドベース
メインで使用する2本ともドイツ製(7/8 size)、
ペンツベルグで Horst Gruenert 氏が製作。
- ②左利きで困ったこと
希少のため購入時に選択肢が限られてしま
うこと。常に自分の楽器持参が不可欠。ジャ
ム・セッションやギグに気軽に参加できない。
- ③夢について
正直さや誠実さをもって、音楽的にも個人の
人間としても成長し続けること。



A Dedication To The Ladies Claus Raible Orchestra

TCB 30942
(Import CD)
Autumn 2011 In Stores!

The Walker's 6

写真提供：Giorgos Antoniou

【現在オフィシャル・サイトはありません】



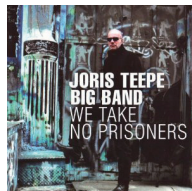
Joris Teepe

ジョリス・ティープ

★先頃、ニューヨークで自身のビッグ・バンドをスタート！
Profile
オランダ出身。1992年以降、ニューヨークを拠点に活躍中。1994年にドン・ブレイデンとの共同名義でリーダー作を発表。これまで8枚のリーダー作を発表。プロデューサー・講師としても手腕を発揮している。最新リーダー作は『We Take No Prisoners』(2009年)。

写真提供：Joris Teepe

- ①愛用のウッドベース
ドイツ製（メーカー不明）。ミッテンヴァルトで1390年頃製作、1985年に左用に変換。
- ②左利きで困ったこと
いつでもどこにでも自分の楽器持参が不可欠なこと。飛び入りでの演奏が難しいこと。旅航空会社によって楽器分をチャージされる。
- ③夢について
たくさんの人に自分の演奏・音楽を知ってもらい、リーダーとしての力が発揮すること。



We Take No Prisoners
Joris Teepe Big Band

Challange Records
(Import CD)
Now On Sale!

[<http://www.joristeepe.com/>]

- ①愛用のウッドベース
ドイツ製（luthier Benedikt Lang）。ミッテンヴァルトで1961年製作、70年代に左に返還。
- ②左利きで困ったこと
旅の時に楽器持参が不可欠なこと。ハウス・ベーシストとしてジャム・セッションの際に、皆（右奏者）が楽器持参が不可欠なこと。
- ③夢について
常にベストの状態を臨み、ベーシストとして型にはまらず、様々な音楽を楽しむこと。



Original Music Modern Jazz
Frame of Reference

© 2010 Frame of Reference
(Import CD)
Now On Sale!

[<http://walkerofbass.com/>]

Doug Walker

ダグ・ウォーカー

★Walkerという名前も魅力。現在リーダー作製作中！
Profile
アメリカ・サクラメント出身。1979年生まれ。10歳でアルト・サクソフーン、14歳の時にエレキ、大学時代にウッドベースを始める。現在サン・ディエゴを拠点に「Frame of Reference」等、5つのバンドでの活動中。最新作は「Frame of Reference」名義のアルバム(2010年)。

写真提供：Doug Walker



Dennis Andersen Photography.com

- ①愛用のウッドベース
A. 東ドイツ製オールド（製作年月日不明）。
B. コルスタイン・S-ラファロモデル、2010年製作。
C. ルーマニア製、1/2 サイズ。
- ②左利きで困ったこと
楽器との出会い。左用に改造の際、楽器製作者とのコミュニケーションが大切になる。
- ③夢について
若いミュージシャン達に演奏場所を提供し、若い人達にジャズを聞いてもらいたい。



COMODO bar with jazz
長江敏郎氏オーナーのお店

大阪市中央区東心斎橋
1丁目17-15 丸清ビル4F
Tel: 06-6258-8088
[<http://www.comodo-jazz.com/>]

[<http://www.monsieur.jp/>]

The Walker's 7



Toshiro Nagae

長江敏郎

★左利きのウッドベース弾き日本ジャズ・シーン代表！
Profile
大阪出身。最初に触れた楽器は三味線で祖父と母に教わる。大学時代にプロダクションに所属し、音楽活動の傍ら大学に通う。現在も大阪の東心斎橋にある「COMODO bar with jazz」のオーナー兼ベーシストとして大阪を拠点に活動中。リーダー作は未発表。

写真提供：長江敏郎